



TOPICS

企画展 プチプラグッズで自然観察を開催

7月26日(土)から8月31日(日)の夏休み期間中に開催しました企画展はご覧いただけましたでしょうか。この企画展では、自然を観察するときに使える「プチプラ(値段の安いプチプライス)グッズ」の使い方などを紹介しました。

山や川はもちろんですが、公園や住宅地であっても実は生きものが数多くすんでいます。生きものや自然を観察したり、標本にして集めたりすることは、専門家だけの特別なことではなく、どなたでも簡単に始めることができますが、どうやってよいか分からない方もいらっしゃると思います。そんな中、自然観察のプロである博物館の学芸員が考えた、100円ショップやホームセンターなどでそろそろ身近なプチプラグッズの使い方や組み合わせ方、実際につかえる技などが沢山あります。例えば、小さな虫を捕まえる吸虫管は値段もそこそこ、ガラス製で取り扱いに注意が必要ですが、100円ショップのプリン用のカップに穴を開け、

そこへストローを差し込み接着すれば、数百円で吸虫管が完成します。その他、塩や砂糖などをいれる薄型の調味料入れは、そのまま小型の水生生物を水ごと入れれば観察しやすく、フタもついているので飛び出しを防ぐこともできます。

そして、自然を観察することの重要性もお伝えしたいことの一つでした。自然環境の悪化で、身近なところでも絶滅していたり、絶滅の危機に瀕したりしている生きものたちは数多くいます。地域の自然を観察する人が増えることで、環境の変化に気づき、生きものを守ることに繋がることがあります。また、観察して見つけたものや気づいたことは、分かっていないことも多く、実は新発見であったなんてこともあります。証拠となる写真や動画を撮影しておくことやメモ帳に書いておくなど、是非、小まめに記録してみてください。世紀の大発見に繋がるかもしれませんよ。

共催：面河山岳博物館 NP法人西日本自然史系博物館ネットワーク

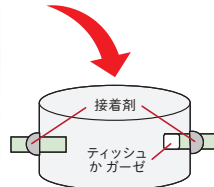


プリンカップ吸虫管

- プリンカップにストローが入る穴を開けてさしこみ、木工用接着剤でとめる。
- ロで吸う側のストローにはティッシュやガーゼを詰め、虫が口に入らないようにする。



片手で歯を強く咬みつけて使う。吸った虫は入れっぱなしにせず、別の容器に移して観察する。



企業内ビオトープへ

ウシモツゴ放流

以前からウシモツゴの保護に協力いただいているアイシン辰栄株式会社のビオトープへ水族館で繁殖したウシモツゴとホトケドジョウを放流しました。どちらの種もかつては、西三河では普通種とされていましたが、現在では数を減らし、愛知県版レッドデータでは、ウシモツゴが絶滅危惧ⅠA、ホトケドジョウが絶滅危惧ⅠBとして扱われています。ウシモツゴもホトケドジョウも警戒心が強く、普段は、見ることがなかなかできませんが、放流前にしっかりと観察し形や動きを観察することができました。放流後は、ウシモツゴはすぐに隠れてしまいましたが、ホトケドジョウはしばらく観察できました。



ビオトープだより

ビオトープのどんぐり

ビオトープにはどんぐりの木がいくつか植えられています。碧南市内の寺社など古くからあるどんぐりの木からどんぐりを集め、苗にしたものを水族館が譲り受けたものです。木が大きく成長してきたので、できるどんぐりも年々増えてきました。一方で、どんぐりの木には、どんぐりの豊作、凶作の年があることが知られていて、毎年、たくさん収穫できるわけではありません。



コナラ

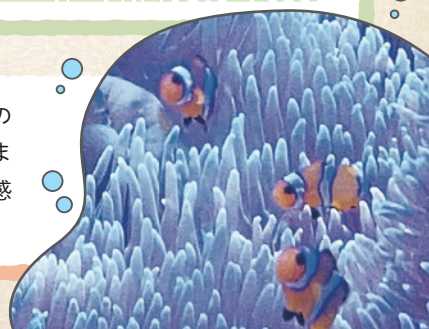


アベマキ

のビオトープのどんぐりは、ウバメガシやアラカシなど小さなどんぐりは並作、コナラとアベマキはやや不作なようです。他にもウラジロガシとスダジイの木もビオトープにありますが、まだまだ木の成長が足りないのか、どんぐりをつけていません。水族館にお越しの際はビオトープのどんぐりにも注目してみてくださいね。

クマノミ 繁殖

当館では2019年に繁殖したハマクマノミと2021年に繁殖したカクレクマノミの常設展示をしています。今年もこの2種の繁殖に成功し、幼魚を展示しています。今後も定期的に繁殖を成功させて、命をつなげる素晴らしさを皆さんに感じていただき環境や生態系について興味を持つきっかけになれば幸いです。



Event Information

イベント 2025.11月～
インフォメーション

イベントについての詳細は碧南海浜水族館ホームページをご確認ください

冬の
特別展

飼育革命

2025.11.8(土)～
2026.2.15(日)

料金：入館料のみ

人類は、1万年以上前から生きものを飼育しているといわれています。古くは食用とするため、あるいは狩猟の供とするためでした。時代が進むと心をうるおすためであったり、社会教育のためであったり・・・生き物を飼う理由はさまざまですが、長い飼育の歴史の中でさまざまな技術革新が occurred。水を汚しにくく栄養豊富な「人工餌料」の開発、水質維持の基本となる「生物ろ過」、デリケートなサンゴの長期飼育を可能にした「ベルリンシステム」、アクリル加工技術の向上とともに生まれた「巨大水槽」などなど・・・かつては飼育すら困難とされていた種が今では飼うだけでなく繁殖できるようになっており、現在の動物園や水族館では飼育を通じて種の保全に貢献することも使命になっています。長い時を経て生まれたさまざまな飼育の技術や設備を、生きものやパネル展示を通じて楽しく詳しく説明します。



第3回 フォトコンテスト 2025

こどもの目線、大人の感性、とっておきの1枚を撮影しよう！

#碧水フォトコン2025 をつけてインスタでポスト！

応募期間 10.1(水)～11.30(日)

作品展示 1.2(金)～2.15(日)

最優秀賞
年間パス
プレゼント

碧南海浜水族館 冬の名物！

こたわりうむ

こたつに入って大水槽の魚を
ゆったりのんびりと観賞しよう！

11.29(土)～1.25(日)まで



自然観察会

「海を漂うクラゲを
採しにいこう！」

3.14(土)

春先にみられるクラゲは
繊細でとてもきれいです。

●定員：20名(幼保年中以上)

●参加費：500円/人

※事前申込制 ※荒天中止



大人気！お魚えさやり体験

バックヤードで生きものたちにエサをあげてみよう！

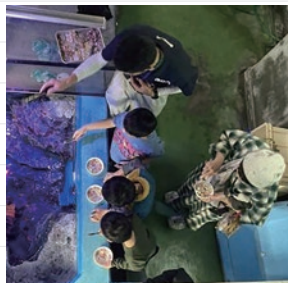
11.15(土) 11.16(日)

1.24(土) 1.25(日)

2.14(土) 2.15(日)

●定員：各回先着1組(最大5名まで)

●参加費：2,000円/組



碧南海浜水族館
HEKINAN SEASIDE AQUARIUM

開館時間 9:00～17:00 最終入館 16:30

休館日：毎週月曜日 ※月曜日祝日の場合は翌平日

〒447-0853 愛知県碧南市浜町2番地3

TEL ▶ 0566-48-3761

WEB ▶ <http://www.city.hekinan.lg.jp/aquarium/>

◎イベント等は、生き物の体調や天候によって内容の変更または中止する場合があります。御了承ください。
◎イベント参加には入館料が必要です。◎写真はイメージです。

開閉館日カレンダー

休館日：毎週月曜日 ※月曜日祝日の場合は翌平日

12月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				